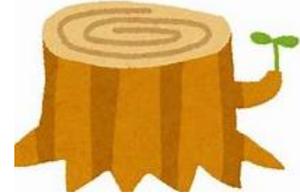




# 年輪50

第23号



兵庫県立香寺高等学校 50回生 年次通信

令和4年6月24日

2年次副主任 後藤 多栄子

私自身、初の香寺高校合唱コンクールを経験し、香寺高校の香寺高校たる所以（ゆえん）の一部がわかった気がします。

香寺高校は一人一人が生き生きとした元気な学校です。挨拶はもちろんのこと、皆元気で自己表現をすることが得意です。いつも一生懸命で普通なら恥ずかしがってしにくいようなこと（楽しいことでも、人の嫌がることでも）喜んでしてくれたりします、、、そのような評価を得ている（と思われる）香寺高校の生徒の皆さんの内面は、どのように作り上げられてきているのか、がわかりました。各自が元々持ったものも多くあるといえども、そのような一つ一つの特性は、きっと香寺高校の合唱コンクールを含む行事のなかで、生徒間、教師との間、家庭でのやりとりのなかで知らず知らずのうちに少しずつ醸造され、花開いていくものなのだと感じたのです。

合唱コンクールに向けて各クラスしっかりと気合いが入っていました。曲決めから綿密に話し合い、昼休み、放課後、時には朝の時間なども使い、連日集まって熱く練習する皆の姿にうらやましさを感ずりました。予選で、一つ一つのクラスの合唱を聞き、皆さんが一体となって一生懸命に歌う姿に感動しました。決勝では、各クラスが織りなすとても爽やかな空気感、広がりや深みのある世界観に触れ、もう一度感動しました。2組、1組の皆さんは2年次の期待と応援をいっぱい背負い合唱コンクールで余すところなく実力を発揮してくれました。合唱、伴奏、指揮する姿は本当に素晴らしかったです！とてもあたたかい気持ちになりました。勇姿を見せてもらい、また、大健闘の結果で2年次としても最高の合唱コンクールになりました。

行事は真剣に取り組めば人を何倍にも成長させてくれるものです。新入生にとっては香寺高校初のビッグイベントですが、2・3年次にとっては新クラスでの団結を求められ、またそれを後押しもしてくれる絶好の機会であったと思います。文化委員や指揮者、伴奏者、司会をはじめ、一人一人の真摯な取り組みの姿を見せてもらい、とても感謝しています。合唱コンクールに関わって下さったすべての方の支えがあったことなので、このことも忘れないでおきましょう。

あなた方は行事に何を求めますか。言いかえると何を目標にしますか。クラスで決勝に進みたい、決勝で優勝したい、という目標は確かに立派で大事です。だけれども、真の目標は何でしょうか。コロナ禍で果敢に香寺高校が合唱コンクールに挑戦する理由は何か、、、校歌に効果あり、という答えも含め、答えは一つではないけれど、やはりできれば自分たち以外の誰かに一人でも影響を与えたい、感動させたい、香寺高校の伝統ここにあり！と示していきたい、といった貢献の意識があればとても素敵です。そしてそういった意識があれば、緊張を振り切り、みなぎるパワーを示すことも容易になると思います。

そしてこのことは、日々の生活でも言えることです。確かに高校生は high school student なのだから、study すること、自分の勉強をすることが仕事、という側面はありますが、あなたは香寺高校から多くのものを得ていると思います。友達から得るものも多いはず。あなたが、その一つの行動を取ることで相手に与える影響、周りに与える印象はどうか、といったことを振り返るチャンスも、この合唱コンクールは与えてくれたと思います。限られた時間の中で皆が力を合わせればこんなすごいことができる、そんなあなた達一人一人は香寺高校にとってかけがえのない存在であり、互いに影響を及ぼしあう仲間なのだから、、、さあ、5分前着席から始めよう。

## 合唱コンクールを終えて



2組 真弓 さら

何もわからない状態で始まった合唱コンクールでした。みんな団結することが難しく、なかなかまとまりませんでした。だんだんと曲が完成する頃には、みんなの心が集まり一致団結できました。

他のクラスの歌声もステキでした。会場で聴けて良かったと思いました。

2組

年次予選

決勝



1組 山内 瑠杏

6月15日予選、17日決勝と聞いたときは、まだまだ先と思っていたのですが、気がつけば、あっという間。今からなら言えますが、練習を始めた最初のほうは、ガタガタで不安でした。

文化委員のおかげで、徐々にみんな集まってきて曲が完成しました。改めて絆が深まったと思います。

1組

年次予選

決勝



### 3組 西畑 里保

高校になって初めての合唱コンクール。練習が始まる前からとてもワクワクしていました。中学生以来の伴奏だったので少し不安もありましたが、クラスみんなが支えてくれたおかげで、本番は楽しんで弾くことができました。限られた時間の中での練習は大変でしたが、仲間と協力することの大切さを改めて気づくことができました。



### 4組 大森 藍実

コロナ禍の影響で2年連続中止となっていた合唱コンクールが、今年は無事開催することができて本当に嬉しかったです。パートリーダーや指揮者を中心に全員が協力し合い最高の合唱を作りあげることができました。

合唱コンクールを通して深まった4組の絆を、次の学校行事でも発揮して、最高の思い出を作りたいです。



### 5組 山崎 拓実

予選では、惜しくも負けてしまいましたが、勿論、結果も大事ですが、そこまでクラスの仲間と共に頑張ってきたプロセスが大事だと思いました。

また、合唱コンクールが開催できたことは、先生方がいろいろ協力してくださったおかげだと思います。改めて先生方に感謝いたします。



皆さんの今回の合唱は一期一会、二度と同じものは聴けません。 思いを歌に乗せて伝えてもらいました。入賞したクラスは、その中でもさらにもう一步訴えかけてくるものがありました。勝負ですから順位はつきます。しかし、そんなことは置いておいて、本当にどのクラスも立派でした。残念なのは3組、4組、5組の合唱のすごさを全校生に聴いてもらえなかったことです。予選の緊張感は半端なかったですね。合唱は確かな音程や、ハーモニーの美しさも大切ですが、何より感動を生むのは、どれだけ一生懸命この1曲を届けたという気持ちがあるか、です。・・・2組はきれいなハーモニーと、この歌を届けたいという気持ちが伝わりました。そして、それにはやっぱり練習が大切。練習でできないことは本番でもできないし、練習を大切に積み重ねる人にしか、本番で気持ちを届けることはできません。・・・1組は予選から決勝、もう一段アップしましたね。すごかった。終わった瞬間に鳥肌が立ちました。

今回の合唱コンクール、一番大切なことを教えてもらいました。 それは、「聴いた人に感動してもらうこと」

教育実習生の 中村 友希子先生 ありがとうございます。



中村 友希子

私は5月28日(土)から6月17日(金)まで教育実習として、2年5組へ行かせていただきました。担任の先生は、クラスが一つになるように、大変熱心に、指導されていました。指揮者として立ち上がる生徒。そして小学校以来、ピアノからは遠のいていた2名の生徒が合唱のためにピアノの練習を再び始めました。合唱が好きではないという生徒もいたのにも関わらず、放課後練習には全員が参加しました。クラスの全員が少しずつ出せる力を合わせて日に日にクラスの心が一つに大きくなっていくのを感じました。真剣にやることの面白さをクラス全体で創り出していました。私の実習の最終日には、2年5組の皆さんがサプライズで合唱を歌ってくれました。私は最高にうれしかったです。私の胸に「平和の鐘」が鳴り響いています。皆さまと過ごさせていただいた時間は私の一生の宝です。ありがとうございます。



**【香寺高校ホームページについて】**

アドレス : <http://www.hyogo-c.ed.jp/~koderahs>

香寺高校ホームページは右記のQRコードでもご覧いただけます。

警報発令時の連絡や、各種書類のダウンロードが可能ですので、ぜひご利用ください◎

